



地方独立行政法人

栃木県立がんセンター

Tochigi Cancer Center

5月号
2026



表紙写真：プルヴィクト治療のスタッフ

がんセンターだより

あいの こころ

Philosophy
Art
Humanity

- P.1 理事長再任の挨拶
- P.2 副理事長就任の挨拶
- P.3 プルヴィクト治療開始
- P.4 がん相談支援センターのご紹介
- P.5-6 新任医師の紹介・2026年度 辞令交付式



とちまるくん © 栃木県

理事長就任のご挨拶(再任)

このたび、栃木県知事より再びの任命を賜り、地方独立行政法人栃木県立がんセンターの第3期目となる理事長を務めることとなりました。改めまして、県民の皆様、ならびに医療・行政関係の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当センターは1986年の開院以来、がんの「検診から治療まで」の一貫した体制を軸に、標準治療から先進医療、治験・臨床研究まで積極的に取り組んでまいりました。2016年の地方独立行政法人化以降は、経営の弾力性を活かした医療サービスの拡充と業務効率化にも邁進しております。



地方独立行政法人
栃木県立がんセンター

理事長 尾澤 巖

現在、私たちが直面している最大の課題は、加速度的に進む人口減少と高齢化です。特に医療の担い手不足は深刻であり、なかでもがん診療の中核を担う消化器外科医の減少には強い危機感を抱いております。当センターでは、手術療法の質と量を維持するため、外科医の確保に日々最優先で注力しております。

これまでのがん医療は、どこに住んでいても質の高い医療が受けられる「均てん化」を目指してきました。しかし、前述した社会情勢の変化により、理想を維持するためには戦略的な「集約化」が避けられない局面にきております。「高度な手術や高額な機器を必要とする放射線治療は集約して行い、一方で薬物療法や術後の経過観察、緩和ケアなどは住み慣れた地域で支える」この役割分担を最適化するためには、各医療圏の人口動態や疾患別の罹患予測を詳細に分析し、高齢の患者さんの移動距離を最小限に抑えるような設計が不可欠です。

特に高齢のがん患者さんにとっては、住み慣れた場所で安心して過ごせることが何よりの支えとなります。高度な医療を集約する一方で、地域の医療機関や介護・福祉施設と密接に連携し、地域全体で患者さんの生活を支えるネットワークを構築することこそ、都道府県がん診療連携拠点病院である当センターの新たな責務であると考えております。

また、当センターは建物の老朽化という課題も抱えており、NHO栃木医療センターとの統合も視野に入れた「新県立病院」の構想を進めております。今年度は、医師会や大学、患者会、県議会など多方面からのご意見を仰ぎながら、基本構想の議論を本格化させてまいります。

県民の皆様へ「ここに来れば、最新で最良のがん医療が受けられる」と、最も信頼され、頼りにされる病院であり続けるよう、職員一丸となって全力を尽くしてまいります。

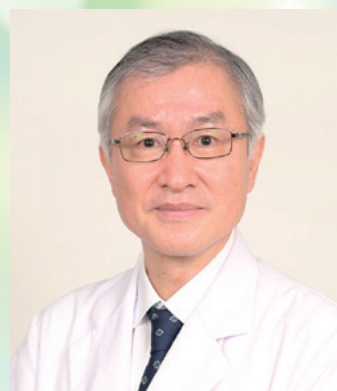
皆様の変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



副理事長就任のご挨拶



この度、副理事長に就任することになりました安藤二郎です。就任にあたり、ご挨拶を申し上げます。2022年4月に病院長に就任し、栃木県立がんセンターの病院事業の改善と発展に努めてきましたが、今後も引き続き、都道府県がん診療拠点病院としての使命を果たすべく努力していきたいと考えております。



地方独立行政法人
栃木県立がんセンター

副理事長 安藤 二郎

栃木県立がんセンターは今年で開院40周年を迎えることとなりますが、今年度はその将来像を検討する段階に入ります。2026年3月に栃木県と国立病院機構で県立病院と栃木医療センターの再編統合に向けた協議を進めていくにあたり、基本的事項について合意しました。基本的合意内容では新たに県が整備する病院の診療機能は各病院が担ってきた診療機能を基本としつつ、地域医療構想を踏まえながら充実及び強化に努めることが挙げられており、がんセンターとして果たしてきた専門的ながん医療も引き続き、強化していきたいと考えております。また2026年3月にまとめられた県立病院の今後のあり方・目指すべき方向性に関する提言書では、県民から信頼される病院として、将来にわたって良質な医療を効率的に提供し、県民が安心して暮らせるとちぎづくりに貢献することが示されており、がんセンターとしても、この将来の姿に向け、準備を進めていく所存です。

がんセンターでは高度で専門的な医療として、高難度手術やロボット支援手術を積極的に導入するとともに、治験による新規薬剤の開発やその普及、遺伝子検査に基づく個別化治療やがん予防対策（リスク低減手術など）に取り組んでいます。さらに、病院事業と並行して、新たながん医療を提供するうえで重要となる研究事業やバイオバンク事業にも注力しています。一方で、近年の物価高騰や診療材料費・薬剤費の上昇等もあり、財務改善も喫緊の課題となっております。県民に質の高いがん医療を継続的に提供するためにも、効率的な医療体制の推進や生成AI導入などの医療DX推進で、経営改善にも努めていきたいと考えております。開院以来の当センターの基本理念「学問に裏付けられた最高の技術を愛のところで県民の皆様に提供します」を忘れずに、県民から愛される、そして選ばれる病院となるべく、尽力していく所存です。今後ともご支援、ご指導のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



プルヴィクト治療開始



プルヴィクト治療について

プルヴィクトは、前立腺がんに対する新しい治療薬です。2025年11月から日本でも使えるようになり、当センターでも治療を開始しました。この薬は、がん細胞に目印のようにつつき、放射線の力でがんを攻撃します。周りの正常な細胞への影響をできるだけ少なくすることを目指した治療で、近年では「放射性リガンド療法」とも呼ばれています。



どのような方が対象になりますか

次のような方が治療の対象になります。

- ホルモン治療の効果が弱くなってきた前立腺がん（去勢抵抗性前立腺がん）の方
- 骨や内臓（肝臓・肺など）に転移がある方
- 新規アンドロゲン受容体シグナル阻害薬（アピラテロン、エンザルタミド、アパルタミド、ダロルタミド）のうち、少なくとも1剤以上の治療歴がある方
- 専用の検査（PSMA-PET検査）で、この治療が合うと確認された方

※検査は、他の医療機関で受けていただく場合があります。

退院後のお願い

退院後約1週間は、周りの方への影響を防ぐため、いくつかの注意をお願いしています。

（例）

- トイレの使用後の注意
- ご家族との過ごし方 など

詳しくは、退院前にわかりやすくご説明しますのでご安心ください。

ご相談ください

この治療が受けられるかどうかなど、詳しい内容については、担当の泌尿器科医師にご相談ください。ご不安な点やご質問にも丁寧にお答えいたします。

治療を受けるために大切なこと

安全に治療を行うために、次の点を確認します。

- 血液の状態や臓器の働きが保たれていること
- 入院中に身の回りのことをご自身で行えること
- トイレなどの排泄を自分で管理できること

入院について

治療は入院して行います。

- 入院期間は通常1～3日程度です
- 専用の設備を整えたお部屋で過ごしていただきます。体から出る放射線の量が、安全なレベルまで下がったことを確認してから退院となります。

当センターの取り組み

これまで当センターでは、別薬剤を使った治療を放射線治療室という専用の病室で行ってききましたが、病室不足により入院までお待ちいただく期間が長くなることがありました。今回、プルヴィクト治療開始にあわせて、一般病室に特別な設備を追加し、新しい専用の病室を整備したことで、よりスムーズに治療をご案内できるようになりました。





今の気持ち、話してみませんか？ がん相談支援センターが力になります

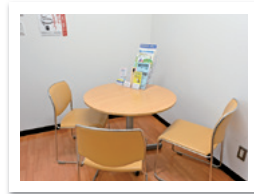


がん相談支援センターってどんなところ？

「がん相談支援センター」は、全国にある、がんに関する相談窓口です。どこのお住まいでも質の高いがん医療が受けられるように、厚生労働大臣が指定した「がん診療連携拠点病院」などに設置されています。

がん相談支援センターには次のような特徴があります

- ・ご本人やご家族はもちろん、どなたでも無料で相談できます。
- ・がん相談支援センターのある病院に通ってなくても相談できます。
- ・保健師、ソーシャルワーカーなどが相談員として対応しています。
- ・窓口の対面だけでなく、電話でも相談できます。
- ・匿名でも相談できます。
- ・相談内容は、本人の了解なしに主治医をはじめ他の人に伝えることは決してありません。



どんな小さなことでも相談できます

「こんなことを聞いてもよいのだろうか…」と思うようなことが、治療や生活、仕事の継続などを考える上で、実は重要だったりします。最初はぼんやりとした不安や疑問でも、話をすることで問題が明確になったり、あなたが何を大切にしたいのかということに気付いたりします。

がん相談支援センターでは、皆様の「困った」「どうしよう」の解決の糸口を相談員と一緒に考えていきまので、お気軽にご相談ください。

情報がほしいと思ったときに、

「どうやって調べたらいいんだろう？」と思ったことは
ありませんか？

“情報を集めるときのポイント”をお伝えいたします。

みんなに知ってほしい！
がん情報の探し方！



主治医は、一番大切な情報源です

主治医は、皆様の診断や治療に関してもっとも重要な情報源になります。まずは主治医の説明をよく聞き、知りたいことは遠慮せずに聞いてみましょう。

特に確認したいのは、「正確ながんの名前」「そのがんの詳しい性質」「がんの広がり（病期/ステージ）」です。

■主治医と話すときのポイント■

- 1 あとから見直せるようにメモをとりましょう
- 2 質問リストをまとめておきましょう

「がん情報サービス」を検索してください

インターネットで情報を探すときには、「確かな」入り口から入ることが大切です。その代表として国立がん研究センターが運営するウェブサイト「がん情報サービス」がおすすめです。



がん情報サービス 🔍



「がんの冊子」シリーズもあります

がん情報サービスでは「がんの冊子」も提供しています。

当院では、がん相談支援センター受付横に設置してありますので、ご希望の方は、相談員にお声がけください。



「地域のがん情報」はこちら

「がん情報とちぎ」はがんに関する栃木県内の情報を紹介しています。地域の医療情報としてご活用ください。

がん情報とちぎ 🔍



確かな情報源から自分に合った情報を探ることが大切です。
がん相談支援センターが、皆様に必要な情報を探してお手伝いをします。



お問い合わせ先

栃木県立がんセンター がん相談支援センター

☎028-658-6484(直通) 受付時間/平日8:30~17:00

新任医師のご紹介

2026年4月から
新たに着任した医師をご紹介します。
どうぞよろしくお願いいたします。

名前 岡村 泰斗 (おかむら たいと)
診療科 泌尿器科
趣味 ラーメン巡り・温泉
出身大学 獨協医科大学

多々ご迷惑おかけする
と思いますが頑張ります。
よろしくお願いいたします！



名前 金子 勇貴 (かねこ ゆうき)
診療科 食道胃外科
趣味 旅行
出身大学 金沢大学

食道・胃分野を中心に
診療・研究に携わって
まいりました。専門性
を活かし安心・安全な
医療を提供できるよう
努めてまいります。



名前 佐藤 知之 (さとう さとし)
診療科 消化器内科
趣味 水泳・登山
出身大学 自治医科大学

安心して検査が受けら
れるように、丁寧な医
療を心がけてまいりま
す。



名前 杉山 由 (すぎやま ゆう)
診療科 骨軟部腫瘍・整形外科
趣味 犬と遊ぶ
出身大学 長崎大学

栃木県出身です。今年
こそ筋トレします。よ
ろしくお願いします。



名前 横山 愛 (よこやま めぐみ)
診療科 泌尿器科
趣味 子供と散歩・自転車
出身大学 獨協医科大学

このたび赴任いたしました。よりよい医療に尽力してまいります。どうぞ宜しくお願いいたします。



名前 渡邊 公太 (わたなべ こうた)
診療科 婦人科
趣味 子供とお出掛け、スポーツ観戦
出身大学 自治医科大学

患者様の生活や価値観に寄り添った診療を心がけてまいります。



名前 有賀 健仁 (あるが たけひと)
診療科 呼吸器外科
趣味 読書(歴史小説)・模型
出身大学 獨協医科大学

出戻りですが、またよろしくお願いたします。



2026年度 辞令交付式

2026年度を迎え、当センターに新たな39名の職員が着任しました。
 4月1日(水)、当院講堂にて辞令交付式が行われ、理事長からの挨拶のあと、新任職員への辞令が交付されました。
 新たに着任した職員一人一人の経験を活かし、共に力を合わせてより良い病院にしていきたいと思っております。



当センターへのお問い合わせ (代表) ☎ 028-658-5151

ご予約は以下の窓口までご連絡ください

予約センターのご案内

予約専用電話

☎ 028-658-5012

予約受付時間

🕒 平日 8:30 - 16:30

予約時にお聞きすること

① 診察券番号(受診歴がある方のみ) ② 受診科と医師名 ③ ご希望の日時

※当センターは、初診、再診ともに予約制となっています。予約センターにお電話のうえ、受診日をご予約ください。また、予約枠に制限があり、ご希望に添えない場合もあります。予めご了承ください。

～当日、患者さんにお持ちいただくもの～

- 保険証またはマイナンバーカード、各種医療証
- 診療情報提供書(紹介状)

- 各種検査結果、画像データ(お持ちの方のみ)
- お薬手帳(お持ちの方のみ)
- 当センターの診察券(お持ちの方のみ)

● 病診連携に関するお問い合わせ

地域連携チーム

☎ 028-611-5503

平日 ☎ 8:30 から 17:15

● がんに関するご相談

患者総合支援センター・
がん相談支援センター

☎ 028-658-6484

平日 ☎ 8:30 から 17:00

● がんの遺伝カウンセリングや、ゲノム医療についての予約やお問い合わせ

ゲノムセンター

☎ 028-611-5480

平日 ☎ 8:30 から 17:00

外来受付のご案内

外来診療日程表は随時更新しております。最新の情報は公式ホームページをご覧ください。



セカンドオピニオン外来のご案内は、こちらからご覧ください。



当センターは
紹介受診重点医療機関
に指定されています

他の医療機関からの診療情報提供書(紹介状)を持たずに外来受診する場合「特別の料金(選定療養費)」がかかります。

初診 7,700円

※緊急、その他やむを得ない事情がある場合には、「特別の料金」を徴収しないことがあります。

予約センター ☎ 028-658-5012(直通) 受付時間 平日 ☎ 8:30 から 16:30

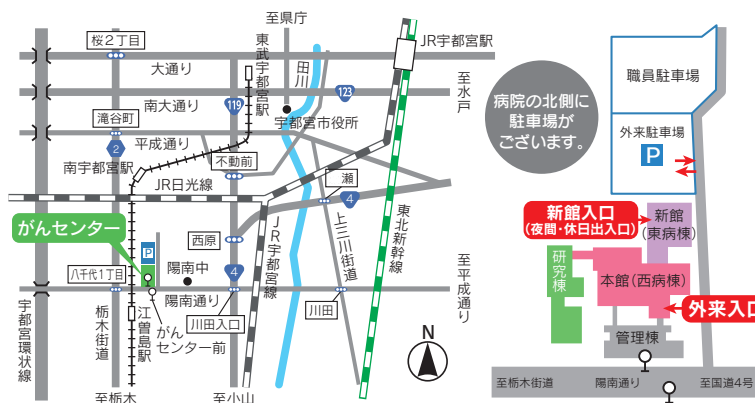
交通のご案内

電車・バス

- JR宇都宮線「宇都宮駅」より
→西口から関東バス「江曾島行(11番のりば)」に乗車。「がんセンター前」で下車。横断歩道を渡る。徒歩1分。(乗車時間約25分)
- 東武宇都宮線「江曾島駅」より
→東口から関東バス「JR宇都宮駅行」に乗車。「がんセンター前」で下車。徒歩1分。(乗車時間約5分)

自動車

- 東北自動車道「鹿沼I.C.」より
→東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「滝谷町」交差点を右折南進し、JR陸橋を越え3つ目の信号「八千代1丁目」を左折。(約9.4km)
→東北自動車道「鹿沼I.C.」より宇都宮方面へ。「宮環鶴田陸橋」を右折。「下砥上町」アンダーに入ってすぐ江曾島方向へ左折し7つ目の信号を左折。(約8.2km)



病院の北側に
駐車場が
ございます。

